

令和 6 年度高松市外部評価のスケジュール等について

1 スケジュールについて

下表のスケジュールで、1 事業毎に議論・評価・判定をしていきます。

※ 1 事業当たり、所管課による事業概要等の説明を 10 分程度、質疑応答・議論～評価・判定を 35 分程度で予定しています。

日	時間	No.	事業名	所管課
8月26日 (月)	14:00	開会		
	14:05	1	不登校対策事業	総合教育センター
	14:50			
		休憩		
	15:00	2	中小企業金融対策事業	産業振興課
	15:45			
	16:00	閉会		
8月27日 (火)	14:00	開会		
	14:05	3	高松ふれあいクリーン事業	環境指導課
	14:50			適正処理対策室
		休憩		
	15:00	4	レンタサイクル事業	交通政策課
	15:45			
	16:00	閉会		

2 評価・判定について

事業毎に質疑応答・議論をしていただき、多数決ではなく、委員の総意として事業に対する「評価」をまとめていただきます。その上で、評価内容に沿った「判定」を決定していただきます。判定区分は、下表の 5 つとなっています。

※今年度は、事業の廃止や縮小、DX や様々な主体との協働推進等による実施方法の見直しの観点で議論していただいた上で判定いたします。（ただし、「継続」の結論を除外した議論ではありません。）

区 分	概 要	例
継続	大きく改善すべき点はなく、現行の事業内容や手法で推進すべきと考えるもの	◆一部工夫が必要。 ◆検証期間が必要なため、現状維持。
改善	事業の必要性は認められるが、事業内容や手法について改善すべきと考えるもの（拡充を含む）	◆成果が十分でないため、実施方法等を更に見直すべき。 ◆もっと効率化を図るべき。
縮小	社会情勢や市民ニーズを踏まえ、事業量や投資金額を縮小すべき（してもよい）と考えるもの	◆サービスが過大であるため、予算規模を縮小。 ◆他団体による同様の事業があるため事業を縮小。
民営化・広域化	事業の必要性は認められるが、民営化や事業広域的な統合を検討し、抜本的に見直すべきと考えるもの	◆指定管理者の導入を検討すべき。 ◆統合による事業の相乗効果、効率的な運営などについて検討が必要。
廃止	現行の事業内容や手法では事業を廃止すべきと考えるもの	◆市が実施する必要性・妥当性がない。 ◆効果がない（薄い）又は逆効果。 ◆実施することが目的化している。